

埼玉県災害時の外国人支援に係る訓練・研修業務委託に関する質問への回答

	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書4(1)	参加人数は70人とあるが、参加対象の内訳は。	参加対象は県、市町村、国際交流協会の職員を想定しています。
2	仕様書4(1)	研修は何時間程度を想定しているか。	2時間程度を想定しています。
3	仕様書4(1)	研修実施後、訓練までの1週間程度オンデマンド配信を実施するとあるが、オンデマンド配信用の資料作成・配信環境の構築は委託内容に含まれるか。	オンライン研修を録画してそのまま配信することを想定しており、配信用に別資料を作成する想定はありません。配信環境は県の公式YouTube等への掲載を想定しています。
4	仕様書4(2)	大規模地震発生時の外国人支援において対処すべきシナリオ等の期間は、発災24時間後から約2週間までとあるが、作成するシナリオ(または状況付与)の数の想定は。	仕様書4(2)アの①場面、②主な想定事例、③想定される参加機関を組み込んだシナリオを1種類作成していただく想定です。
5	仕様書4(2)	訓練の実施時は作成したシナリオ全期間を使用するのではなく、委託者と協議の上、複数場面にシナリオを切り取って実施するものと認識しているが相違ないか。	ご認識のとおりです。
6	仕様書4(3)	本事業で実施する図上訓練および巡回訓練の訓練方式は、ワークショップ型図上訓練か、ロールプレイング型図上訓練のどちらか。ロールプレイング型図上訓練の場合、オープン型、ブラインド型のどちらを想定しているか。	過去に実施されている埼玉版FEMA訓練はロールプレイング型・オープン型の図上訓練が多いため、同様の方式とする想定です。 また、巡回訓練は、ワークショップ型での実施を想定しています。
7	仕様書4(3)	図上訓練および巡回訓練の参加対象の内訳は。また、訓練を2種類に分ける狙いは。	参加対象はいずれの訓練も県、市町村、国際交流協会の職員を想定しています。また、訓練を2種類に分ける狙いは主に以下の3点です。 1. 訓練形式の多様化による効果的な学習機会の提供 2. 1回の所要時間の短縮による参加者の負担軽減 3. 上記2点による参加率の向上
8	仕様書8	本訓練は図上訓練と巡回訓練の2種類あり、11月～12月に半日程度2回とあるが、図上訓練と巡回訓練の回数および1回ごとの実施時間の内訳は。	図上訓練、巡回訓練を各1回、所要時間は各2～3時間程度を想定しています。
9	その他	訓練シナリオ、役割分担表等の現行資料および災害時多言語情報センター設置運営マニュアルについて、企画提案作成段階で事前提供いただくことは可能か。	可能です。参加申請書を提出した者のうち、希望者に対し提供します。